

平成24年5月30日

各位

会社名 株式会社フォレストホールディングス
代表者名 代表取締役社長 吉村恭彰
問合せ先 取締役執行役員企画ユニット統轄 赤嶺祐司
(TEL : 092-477-5804)

「メディカル事業改革」の取組みについて

この度、当社子会社である株式会社アステムは、医療機器及び診断薬事業を、基幹事業として強化すべく「メディカル事業改革」に着手しましたので、下記の通りお知らせをいたします。

記

1. 『グループ内メディカル事業統合』

平成24年4月

・株式会社アステム、メディカル事業の社内分社化

メディカル事業改革の一環として、これまで培ってきた専門性を「深化」させ、メディカル独自色を社内外に発信するために、社内カンパニー制を導入、メディカル営業本部を「メディカル社」として社内分社化しました。

株式会社アステム「メディカル社」概要

- ・事業内容:医療機器・医療用消耗品・検査試薬・検査機器・介護用品・医療用コンピュータ等の販売
- ・売上高:449億円(平成24年3月期)
- ・従業員数:426名(平成24年3月末)

平成25年4月

・株式会社アステムによる株式会社ユニファの吸収合併

株式会社アステム「メディカル社」と、グループ企業であり、主に血液浄化事業を展開する「株式会社ユニファ」は、インフラの共同利用によるコスト削減、業務品質やコンプライアンス、人材育成面のレベル向上とともに、当社グループ内メディカル事業の一本化により、当事業分野における「総合力」と「専門力」を高め、「事業の広さと深さを兼ね備えた総合メディカルディーラー」となるための基盤整備を目的とした、株式会社アステムを存続会社とする「メディカル事業統合」を決定しました。

※法人としては、株式会社アステムと株式会社ユニファの合併となります。

※株式会社アステムと株式会社ユニファは、持株会社フォレストホールディングスの100%子会社です。

株式会社アステム「メディカル社」と「株式会社ユニファ」の概要

・事業内容:

株式会社アステム「メディカル社」:医療機器・医療用消耗品・検査試薬・検査機器・介護用品・医療用
コンピュータ等の販売

株式会社ユニファ:血液浄化関連医療機器等の販売・取付工事、修理

・売上高:株式会社アステム「メディカル社」 449億円、株式会社ユニファ 122億円(平成24年3月期)

・従業員数:株式会社アステム「メディカル社」 426名、株式会社ユニファ 106名(平成24年3月末)

2.『メディカル事業強化に向けたアライアンス』

メディカル事業強化の取組みとして、「事業の広さと深さを兼ね備えた総合メディカルディーラー」として地場優良企業の力を結集し、地域の医療環境の向上に貢献するためのアライアンスを積極的に推進します。

「医療機器事業」

平成24年6月

株式会社井上本店(本社 宮崎市) 資本提携(完全子会社化)

宮崎県、鹿児島県市場におけるメディカル事業全般の協力体制構築

・株式会社井上本店

事業内容:医療用機器等の販売

売上高:9億円(平成23年5月期)

主な商圏:宮崎県、鹿児島県

平成24年3月

九州風雲堂販売株式会社(本社 福岡市) 業務提携

医療機関への医療機器の貸し出し、洗浄、滅菌事業や医療機器(医療材料)等の仕入や販売促進活動の相互協力

・九州風雲堂株式会社

事業内容:医療用機器等の販売

売上高:123億円(平成24年3月期)

主な商圏:福岡県、佐賀県、長崎県、宮崎県、大分県、山口県、広島県、愛媛県

「診断支援事業」

平成23年8月

株式会社テクノ・スズタ(本社 長崎市) 業務提携

診断機器(診断用医薬品、研究用試薬含む)等を対象とした共同入札や仕入、医療機関への共同販売促進活動

・株式会社テクノ・スズタ

事業内容:臨床検査薬、臨床検査機器等の販売・メンテナンス

売上高:53億円(平成23年8月期)

主な商圏:長崎県、福岡県

平成24年3月

宝来メデック株式会社(本社 鹿児島市) 業務提携

診断機器(診断用医薬品、研究用試薬含む)等を対象とした共同入札や仕入、医療機関への共同販売促進活動

・宝来メデック株式会社

事業内容:臨床検査薬、臨床検査機器等の販売・メンテナンス

売上高:39億円(平成23年12月期)

主な商圏:鹿児島県、宮崎県、熊本県

「医療IT事業」

平成23年7月

株式会社システムクレオ(本社 熊本市) 業務提携

医療機関への医療関連IT商品等の共同販売促進活動

・株式会社システムクレオ

事業内容:医療IT商品等の販売及び医療機関支援業務

売上高:4億円(平成24年7月期予測)

主な商圏:熊本県、福岡県、鹿児島県

3. 『社内基盤整備』

メディカル専門ディーラーとしての将来にわたる成長性確保に向けた、全面的な基盤整備に着手しました。

①メディカル専用基幹システム構築

アステム発足以来、メディカル部門(現メディカル社)は基幹システムを医薬部門と共用しておりましたが、この度の「メディカル事業改革」の一環として、メディカル特有の商取引や、要求されるコンプライアンスに対応したメディカル専用基幹システムの構築に着手し、平成24年7月に運用を開始いたします。

②メディカル流通センター建設

各県に分散する物流機能を集約し、「トレーサビリティ管理」、「在庫アイテムの充実」、「調達・納品リードタイムの短縮」によるサービス機能の向上と、安全・安心な医療機器・材料の安定供給の実現を図り、「SPD機能」、「メンテナンス機能」、「提案・研修機能」、「洗浄・滅菌機能」や周辺環境、BCPにも配慮した「新医療サプライチェーン・マネジメントによる地域医療への貢献」を目指す次世代型メディカル専用流通センター「アステムOWLセンター(アステム アウルセンター)」の建設を進めております。

【施設概要】

名称:アステム OWLセンター(アステム アウルセンター)

名称由来:

- Open Way Logistics

「取引メーカーや同業者、お得意先に開かれた物流機能を目指してゆく」という気持ちを込め、命名いたしました。

- 森の賢者といわれる『OWL(アウル:ふくろう)』は、フォレストグループのイメージキャラクターです。

また医療用医薬品流通のハブセンター『九州LISセンター』は、同じく森の動物である『りす』をイメージキャラクターに採用しております。

所在地:佐賀県鳥栖市幡崎町字牛相1706

敷地面積:19,682.98㎡、建築面積:9,581㎡、延床面積:19,491㎡

取扱商品:医療材料、診断薬、透析関連商材等 約10,000アイテム

取扱メーカー:350社(平成24年10月より順次展開)

カバーエリア:アステム「メディカル社」、グループ企業及びアライアンス企業全拠点

投資額:30億円(土地・建物・設備)

【スケジュール】

平成23年10月着工、平成24年10月稼動予定

③ISO9001の全社認証取得

業務品質を向上し、安全で安心な商品供給体制を実現するための「ISO9001」認証取得に取り組み、平成23年度までにメディカル社全拠点における認証取得を完了いたしました。

以上